



いのちの日便り

2017・12・21
いのち推進
プロジェクト
No. 8

保護者の方・地域の方による読み語り

12月7日の「一中いのちの日」では、保護者の方や地域の方による読み語りを行いました。友達や家族の大切さ、自分の生き方や生命について考える本など、「いのち」に関する本を選んで読んでいただきました。ご協力ありがとうございました。

第1学年

| クラス、お名前 | 書物名 |
|-------------|------------------------|
| 1組 今野 雅世さん | ストライプたいへん!しまもようになっちゃった |
| 2組 荒井 理子さん | さかなのなみだ |
| 3組 加藤 則子さん | 手紙 ~最愛なる子供たちへ~ |
| 4組 佐久間みゆきさん | いのちをいただく |
| 5組 藤田亜希子さん | 10代の君たちへ 自分を育てるのは |

第2学年

| クラス、お名前 | 書物名 |
|------------|-----------------|
| 1組 菅原 智美さん | もりとくさはらにあったおはなし |
| 2組 木村 敬子さん | ぼくができること |
| 3組 菊地喜美子さん | かぜのでんわ |
| 4組 小松 華奈さん | 母と暮せば |
| 5組 黒木 恵 さん | じぶんの木 |

第3学年

| クラス、お名前 | 書物名 |
|------------|----------------------------------|
| 1組 有海 真紀さん | ほお…ここがちきゅうのほいくえんか それ、どこで覚えたの? |
| 2組 無着早智子さん | きみの行く道 |
| 3組 村山恵美子さん | オーロラの向こうに |
| 4組 松田 早季さん | へいわってどんなこと |
| 5組 神谷 浩平さん | サアカスの馬 |

ひまわり

| お名前 | 書物名 |
|---------|--------------|
| 神谷 葉子さん | わすれたって、いいんだよ |

<生徒のみなさんの感想より>

大きな海の中では、同じ群れで泳いでいるのに、小さな水槽に入れるといじめが起きると聞き、自分は大きな海でも小さな水槽の中でも、みんなと平等に生活できるように心がけたいです。

(1-2 湯田亜玖里さん)

この話を聞いて、いじめられている人に寄り添う人がいないとダメだと思ったし、狭いところを見るのではなく、広いところを見ていくのが良いと思いました。

(1-2 森谷晃己さん)

今度は、僕の番だ。支えてくれた母を支え、子供を育て、日に日に出来ることが少なくなる人生を見据え生きていく人になろう。でも、それは少し先なのかもしれないと僕は思う。

(1-3 秋保拓斗さん)

この手紙は、お母さんから子供に向けた手紙なんだとわかりました。「旅立ちの準備」という所で自分の母の事を考えたので、いつまでも母を大事にしたいです。

(1-3 佐藤澄果さん)

初めのうちは自分が何をできるかわからないけれど、時間が進むにつれ、それがだんだんわかってくる。今の自分が少し生き急いでいる気がしたので、もっとゆっくり生活してもいいのだと気がつきました。また、人に手助けしてもらうことで、もっと良い自分になれることを学びました。

(2-2 佐藤修人さん)

自分ができることを一生懸命探すことはいいことだなと思いました。まだ自分にできることがたくさんある気がするので探したいなと思いました。

(2-2 後藤萌々さん)

かぜのでんわという話を聞いて、最初はかわいらしい絵で心が温まる話だなと思っていたけど、東日本大震災の時の本当にあったおとだと聞いて驚きました。本当に電話を置いてくれる優しい人がいるんだと思ってさらに心が温まりました。

(2-3 今泉 咲さん)

東日本大震災の時にあった話だと聞いて驚いた。自分の行動で他の人の心を少しでも和やかに楽にできる能力がある人はすごいなと思った。今は募金を行っているので、他の人のためにも協力していこうと思った。

(2-3 柿崎健太さん)

これからどんなに辛いときがあっても、自分で道を決めて自分で前に行こうと思いました。人は自分で考えて行動ができるので、しっかり自分で考えて行動できるようになっていきたいです。

(3-2 小関柊司さん)

人は必ず社会に出なければならない。その中で、不安などがあっても自分から解決しないと良い方向へは行けないということを感じたので、受験勉強も自分から心がけて取り組みたいです。

(3-2 木島悠次郎さん)

オーロラを撮るためにしてきた過程が大事ということを理解出来たので、僕はこれからも夢に向かって頑張っていくという過程を大事にしていきたい。

(3-3 町田紘司朗さん)

「オーロラの向こうに」を書いた松本さんのあきらめない心や好きなことを好きなだけ楽しもうという心がいいなあと思いました。自分のやりたいことや夢をあきらめずに追いかけても、叶わないかもしれないけど、松本さんのように追いつけ、何か違うことにもつながっていくような未来にしたいなあと思いました。

(3-3 近藤夏美さん)



次回のいのちの日は、1月9日(火)始業式の校長講話です。